

私の推薦する天然記念物

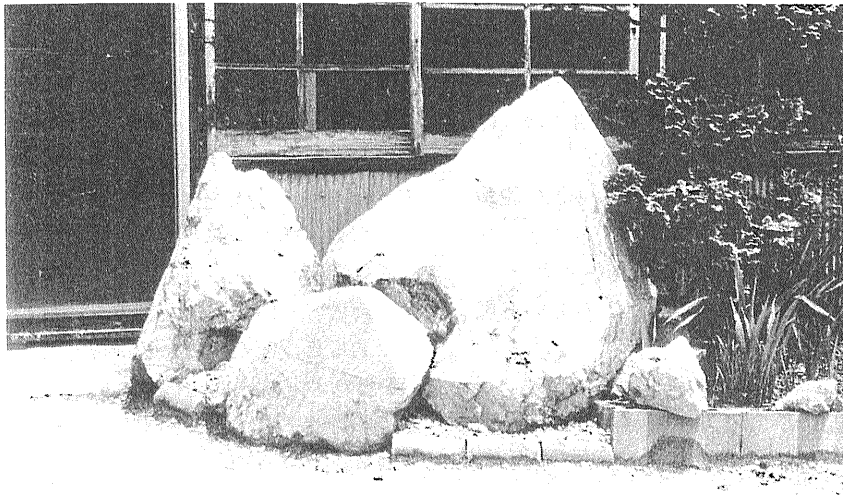


写真1 鉱山事務所前に展示されている巨大水晶

馬谷城山鉱山のペグマタイトと大水晶

島根県西部の益田市にある馬谷城山^{うまがに}鉱山のペグマタイトは、日本一の巨大水産を産することで有名です。現在、切羽から産する水晶の径は大きなもので1 m ぐらいですが、記録によれば、発破後切羽に直径10 m、長さ17 mの六角柱状の空洞ができたことがあったそうです。

ペグマタイトの母岩は^{まきご}真砂花崗岩(92-106 Ma)と呼ばれる白亜紀の斑状黒雲母花崗岩であり、東西7 km、南北4.5 kmのレンズ状の輪郭をもつ岩体です。この岩体の中央西寄りにある城山(458 m)の中腹、標高300-400 mにペグマタイトが露出しており、走向延長500 m、傾斜延長60 m、最大厚さ40 m

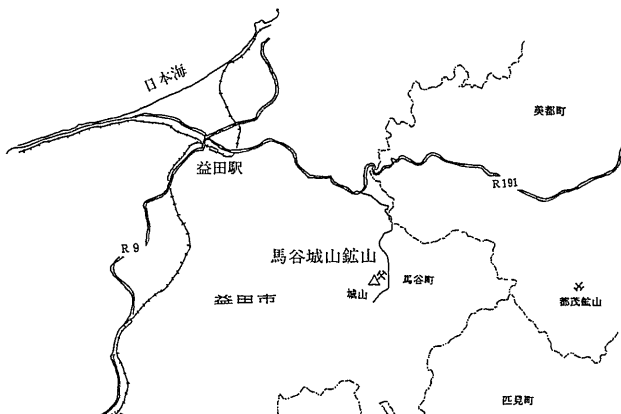
の規模をもっています。

主要鉱物は石英・カリ長石・白雲母であり、ほかに少量の黒雲母・輝水鉛鉱・螢石があります。石英と長石は巨晶をなし、白雲母は小さな鱗片状結晶です。

石英(水晶)の特徴は、径が1 m位に達するものでも柱面の発達が悪く、一般に錐面だけが目立ち、また微細な含有物が多いため無色透明でなく乳白色を呈していることです。

ペグマタイト中のカリ長石に富んだ部分は、主として地場産業である石州瓦の釉薬原料や衛生陶器、有田焼原料に、また石英部分は陶磁器原料、建材、ろ過材等に利用されています。

(島根県立工業技術センター所長 酒井禮男)



第1図 馬谷城山鉱山の位置

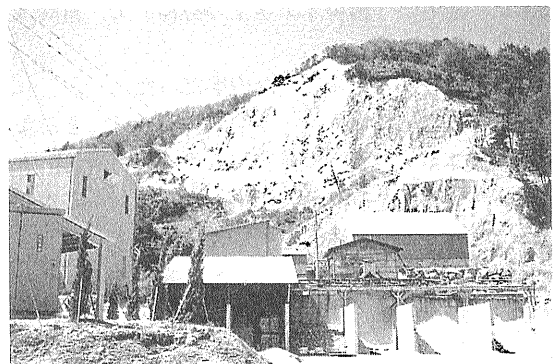


写真2 採掘場全景